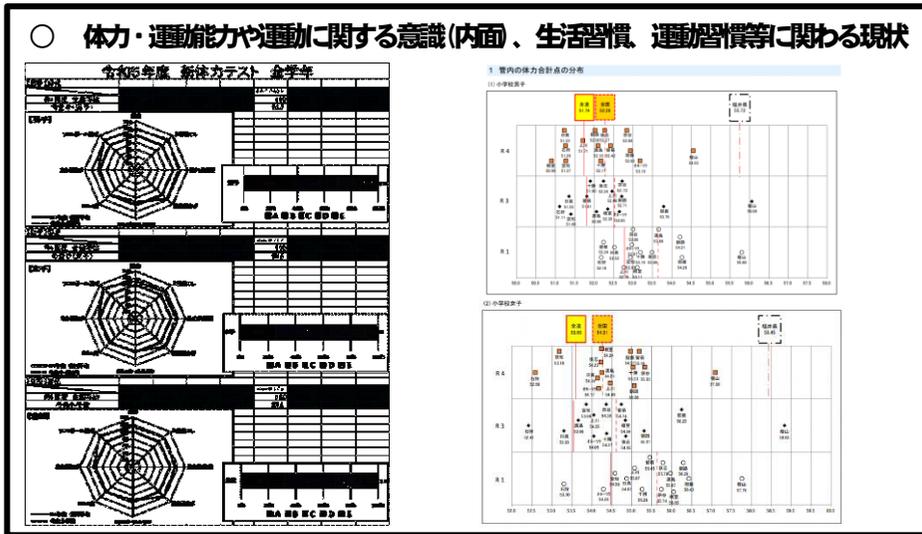


今金町立今金小学校

- ・ 体力向上プラン
- ・ 実践概要

令和5年度 今金町立今金小学校 体力向上プラン

1 自校の児童生徒の体力・運動能力等に関わる現状



2 自校の児童生徒の体力・運動能力等の現状から分析した課題

- **体力・運動能力等に関わる課題**
 - ・上体おこし、反復横とび、ボール投げにおいて全国を大幅に上回る結果となっているが、二極化している。
 - ・シャトルラン（持久力）において昨年度同様課題が残る。
- **生活習慣、運動習慣に関わる課題**
 - ・授業以外の運動する時間を問う質問に対して、60分以上と答えた児童の割合は95.2%と全国平均(90%)を上回っている一方で、メディアに触れる時間は、2～3時間以上と回答した児童の割合が75.5%と全国平均(61%)を上回っている。

3 自校の児童生徒の体力・運動能力等に係る目標

- **体力・運動能力等に関わる目標**
 - ・新体力テストを全学年・全種目で実施し、その分析結果から授業改善を図る。
 - ～体力合計点の全国平均を上回る～
- **生活習慣、運動習慣に関わる目標**
 - ・運動能力の二極化に向けて（特に得点下位層）スクリーンタイムを減少させる。
 - ～生活リズムチェックシートの活用～

4 自校の児童生徒の体力・運動能力等に関わる目標達成状況

- **体力・運動能力等に関わる目標の達成状況に対する評価指標**
 - 【評価方法】
 - ・新体力テスト
 - 【成果指標】
 - ・全種目において全国比-2%以内
 - 【評価結果】
 - ・ **中間評価（8月）**
全校においてシャトルラン（持久走）が全国比93.8%と-7%
 - ・ **最終評価（2月）**
シャトルラン全国比104%と+4%
- **生活習慣、運動習慣に関わる目標の達成状況に対する評価指標**
 - 【評価方法】
 - ・生活リズムチェックシートの活用
 - ・新体力テスト結果分析
 - 【成果指標】
 - ・1日の平均メディア時間2時間未満を70%以上
 - 【評価結果】
 - ・ **中間評価（8月）**
1日の平均メディア時間2時間未満73%以上（目標-3%）
 - ・ **最終評価（2月）**
メディア時間2時間未満75%であり、未達成であった。

5 自校の児童生徒の体力・運動能力等に応じた具体的な取組【1校1実践】

- 1 どさん子元気アップチャレンジへの参加**
 - 年間を通した、どさん子元気アップチャレンジへの積極的な参加を通して、全校的に体力向上を目指す。
 - 2 家庭との連携について**
 - 児童一人一人に、健康カードと一緒に個人の体力記録カードを配付し、家庭へ周知し、家庭と一体となった取組を進める。
- 【取組指標】**

 - 1 日常的に体力向上に取り組むことができるよう内容を見直し、意欲の向上を図る。
 - 2 学年毎の体力の経年変化を家庭へ周知し、啓発を図る。

6 次年度に向けた具体的な取組の改善・充実

- ・児童がより一層、各種の運動への興味・関心を高めるとともに、運動能力の向上を図ることができるよう、さらなる体育の授業改善に取り組む。
- ・体育授業における運動量を確保する。

今金町立今金小学校

全校児童（生徒）数 169名（男子 80名 女子 89名）
教職員数 20名 兼務校（巡回校）今金町立種川小学校

目指す子どもの姿

健康でたくましい心と体を育み、すすんで表現する子ども

全ての児童生徒が楽しく、意欲的に取り組むことができる授業づくり



体育専科教員等の視点による
授業づくりのポイント

内容のまとまりを見通した授業実践のポイント

- ・ 児童が見通しをもてるような授業づくり
- ・ 全ての児童が「楽しく」参加できる授業づくり
- ・ 運動量を確保した授業づくり



単元の「導入」場面における指導の手立て



- ・ 音楽に合わせて運動量を確保した準備運動の実施

（導入の短時間化）
（主運動へ向けての心理的準備）

「知識及び技能」の習得の場面における指導の手立て



- ・ 技能のPOINTを明確化

（スモールステップで提示）
（ICT機器の効果的な活用）



「知識及び技能」の活用場面における指導の手立て



- ・ 振り返り・学びの言語化
（自身の動画を視聴した振り返り）
（学びの確認・より深い学びへ）

